



ヒロシマ青年革新懇新聞



第10号 2012年9月27日(毎月15日発行)全国革新懇ニュース付録
ヒロシマ青年革新懇事務局 082(245)2501 FAX082(245)2502
〒730-0051 広島市中区大手町4-2-27 中央レジデンスビル 403ヒロシマ革新懇

もくじ 歓迎！新入会員／今月の人(櫻井春菜さん)／安芸民商まつり出店／労働実態を自治体へ／調査結果の分析／活動記録・予定

歓迎！新入会員



10月13日の集まりでは新メンバー歓迎会と題して青年革新懇に加入したばかりの方や会った事のない会員さん達との交流を兼ねた食事会を行いました。今回14人のメンバーが集まり約3時間にわたって簡単な自己紹介・今後青年革新懇でやりたい事を歓迎会の肴にし楽しく話せました。

今回は、自分たちで買い出しに行き、会場は共同センター。買い出しは男性と4人と女性1人で行き、普段慣れない事をしていた男性陣のカゴの中は空っぽで僕は「この買い物は果たして何時間かかるのだろうか…」と不安でなりませんでした。でも、Sさんと言う女性が居たおかげで何事もなく買い物は無事に果たし、いよいよ歓迎会のスタートです。

男性の数が多いと中々準備的にも内容的にもはかどらないまま、途中、安芸民商祭りに出す決め事など、多々歓迎会から話がズれる事もりましたがお互いの事を良く知り、「その人がなぜ青年革新懇に入っているのか、何を目標にして取り組んでいるのか。何について学びたいのか」僕なりの解釈ではありますが「皆、根本的な事は同じなんだ。一人一人が違う方向を向いているから色々な案が出て色々な学習に取り組めるだ」と心に刻みました。

このような集まりを開いてくださった。大橋極長並びに会員の皆さま本当にありがとうございます。今後の活動も自分から積極的に行動する、意見を述べるよう頑張ります。(中山翔太)



今月の人



表示できません

安芸民商まつり

今後の活動:安芸民商まつり出店決定

11月25日(日)に安芸民商まつりがあり、それに参加することが話し合った結果決定しました。場所は府中町の空城山公園。豚汁、焼きおにぎり、パンの耳揚げを売ります。売上は次回の活動費になります。

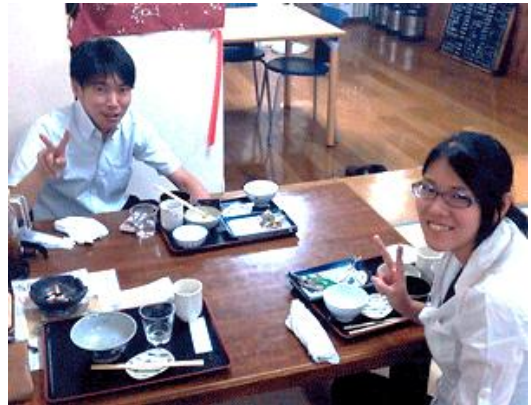
ところでなぜ民商祭りに参加するのか? そう思われるかもしれません。実際に会の話し合いでもそんな声が出たかは分かりませんが得ることのほうが多いと思いますので価値はあると思います。

参加することによって他団体に存在を知らせることもできるし、他団特有の雰囲気を感じたり見ることによって、話だけでは分からなかった事を知るきっかけを得ることができます。たったそれだけと思うかもしれませんがとっても重要なことだと思います。もっと意味が分りたい人は実行委員会を開いていますのでぜひ参加してください。参加することで視野が広

がったり、いろいろ見つけたり感じたりすることができるとおもいます。祭り自体も楽しいのでそれだけでもかわる価値はあると思いますよ。(伊勢真雄)

労働実態を自治体へ

2012年9月21日(金)



自治体交渉終了後、お昼ご飯を食べるふたり

かねてから集めていた生活労働実態アンケートの結果を労働実態黒書として集計し、それを基に自治体との懇談の場を持つことになりました。

懇談の相手は県庁・雇用労働政策課の主幹と主査の2名。

まずは青年革新懇の概要と、アンケート集めや懇談会を開催することになった経緯を説明します。全国規模の民主団体であること、青年の実態を届け改善を促すために今回の企画を始めたことなどを伝えました。

次にアンケートの集計結果とそこから読み取れる分析を伝えました。分野ごとに説明する合間にも質問や指摘を受け、関心の高さが感じられました。

最後に、雇用の斡旋など、9項目にまとめた要請書を提出し、意見交換を行いました。

「公的なアンケートでもこれだけ集めるのは大変。よく集められたと思う」「非正規のデータはあまり入手できないので参考になる」と好意的な感想を述べられる一方で「管轄外なのでどうにもできない」「現行の制度がある」と、実質的な行動には難色が見られました。

懇談の中で、青年革新懇自体にも関心が寄せられ、活動内容や構成人数などが積極的に質問されました。

主幹は2010年に行った今回と同じ主旨の懇談会に立ち会っており、当時まだ準備会の段階だった青年革新懇を覚えていたそうです。

「2年前の懇談からどうなったのか気になっていた。今も頑張っているようでよかった」とのこと。

今回の自治体交渉では、行政側に青年の実態を届け、動かすことの難しさと重要性が感じられました。

そして、青年革新懇の認知度が少しずつでも上がっていることを知り、継続することの意義を見出すことができました。

調査結果の分析

自治体交渉についての記事の中でも言及されていますが、こちらでは実態調査『若者の生活と仕事に関する実態調査』の最終結果について報告します。

5月15日を第1回とし8月29日の第29回までで、アンケートの回収枚数は206枚(同有効回答数)になりました。以下、これらのアンケートから特徴的なものに絞って、数点結果・分析を紹介したいと思います。

最初に単純集計の結果について3点紹介します。

1点目は、雇用の形態についてです。正規雇用が50%程度、非正規雇用(派遣、アルバイトなど)が35%程度という分布です。非正規雇用が3人に1人という全国的な傾向を裏付けるものとなっています。

2点目は、給与の総支給額(月額)についてです。20~29万円の方が40%程度と最も多いですが、10万円未満の方も20%程度おり、自立ということを考えて時に困難を抱える状況も見られます。そのことは、実家暮らしの方が50%、という他の項目の結果からもうかがえます。

3点目は、仕事の不満や悩みについてです。「有給休暇や休日がとりにくい」、「職場に人手が足りない」、「給料が上がらない」については、「そう思う」「とてもそう思う」+「ややそう思う」と回答した方が半数以上見られました。これらの労働環境、条件については特に改善の必要性がみられます。なお、組合への加入率は、25%程度という結果も見られ、改善を求める母体は少なくないこともうかがえます。

次に、正規と非正規の雇用形態ごとの集計結果(クロス集計)について2点ピックアップして紹介します。

1点目は、居住形態についてです。非正規の方が正規に比べて、14%ほど1人暮らしの方が少ないことがわかります。

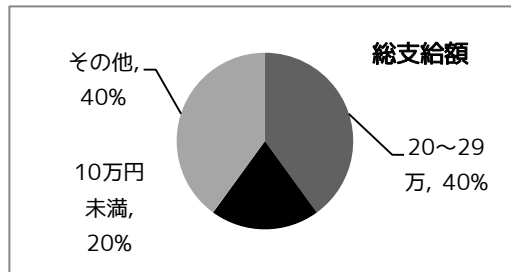
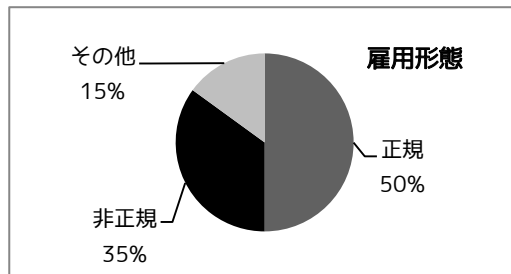
非正規雇用が少なからず、自立に影響を与えていると考えられます。

2点目は、給与の総支給額についてです。非正規の方が正規に比べて40%ほど、10万円以下の総支給額である方が多く、非正規の方の場合は低水準で給与額が推移していることがわかります。

なお、自由記述欄では主に、「就職・転職への支援に関わるもの」(斡旋

や就労支援に関わるものなど)、「休暇に関するもの」(有給休暇の取得に関するものなど)、「労働環境に関するもの」(育児休暇に関するものなど)などが、政治・行政への要求として挙げられていました。

今後さらに分析を進めるとともに、これらの結



果をもって広島県につづきさまざまな単位、組織に要求していきたいと考えています。

最後に調査にご協力いただいたみなさんにお礼と労いの言葉をお送りしまして、報告としたいと思います。

活動記録・予定

2012年9月

- 21日 10:30 自治体交渉@広島県庁
- 26日 19:00 会員ミーティング@共同センター

2012年10月

- 6日～8日 2012全国学習交流集会 in 倉敷
- 13日 10:00 核兵器なくそう広島青年実行委員会 企画・碑巡り
- 13日 新入会員歓迎交流会@共同センター
- 14日 ヒロシマ革新懇主催 講演会
- 21日 安芸民商まつり出店についてミーティング@共同センター
- 27日 新聞発送作業@共同センター

これからの予定

2012年11月

- 3日 18:00 会員ミーティング@青少年センター
- 19日 学習会「革新懇とは(仮)」講師:阿部悦子さん(全国革新懇ニュース編集長)
- 24日 全国うたごえ交流会 青年交流会
- 25日 安芸民商まつり 出店



毎週金曜日首相官邸前行動へ連帯！！ ヒロシマ・アピールウォーク

Bye Bye Nukes!!



【毎月第1・第3金曜日定例】

集合時間 18時
集合場所 国泰寺公園

毎週金曜日、首相官邸前で行われている
原発再稼働反対を求める抗議デモに連帯し、
広島からも訴えます。

「原発いらない!」「再稼働反対!」の声を
みんなで一緒にアピールしましょう!

主催: さよなら原発ヒロシマの会